

復興支援ニュース

Vol.107 令和2年7月号

宮城県東部保健福祉事務所(石巻保健所)

今月の表紙 - cover -

ダンボールベッド

6月24日、石巻赤十字病院で「クラスター対策をした避難所運営」と題した講義とデモンストレーションが行われました。

これからの避難所は、大きく変わるかもしれません。

新しい避難所 クラスター対策をした避難所運営

昨年10月の台風19号は記憶に新しい。石巻管内2市1町では45か所の避難所が設置され、ピーク時の避難者数は3,140人に及んだ。

避難所の環境は昔から変わらず、多くの人が身を寄せ、床に雑魚寝をする。

しかし新型コロナウイルスの流行により、多くの国民が感染症対策を意識するようになった昨今の基準に照らし合わせれば、飛沫が舞い上がり感染リスクが高まること、典型的な3密になってしまうことが問題に

なる。

これに対して、今回の講義とデモンストレーションでは今後の参考になる考え方が示された。高さ145cmのパーティションを設置し一人あたりのスペースを区切る。ダンボールベッドは、飛沫が舞い上がる高さを考慮して床から30cm以上とするなど、様々な対策を盛り込んでいる。この混乱が収まったとしても、間違いなく今後のスタンダードになるだろう。

これから避難所は、大きく変わっていく。

事務所からのお知らせ

◆「一晩おいたカレー」に注意！！

暑くなり、細菌性の食中毒が増える季節です。中でも、この時期には「ウェルシュ菌」による食中毒が起きやすくなります。

ウェルシュ菌は土中・水中・動物・植物とどこにでもいる細菌です。加熱しても死なない、



「芽胞」という形態を取ることができるので、加熱したカレー鍋の中でも生き残ります。そのまま鍋で「一晩寝かせる」と、ゆっくりと冷えるために細菌が増えやすく、菌にとって絶好の環境（温かい温度帯）が保たれるために増殖し、食中毒を引き起こします。

細菌性の食中毒の発生防止には、できたてを熱いますぐに食べるか、速やかに冷却をすることが大切です。保管しておく場合には、小分けにして粗熱をとった後に冷蔵庫で保管してください。大鍋のままだと、中心部がなかなか冷えません。



(担当：食品衛生班 電話：0225-95-1417)

◆ダメ。ゼッタイ。1回でも「乱用」

薬物乱用とは、医薬品を医療目的から逸脱して使用することや、用法・用量を守らずに使用すること、あるいは医療目的のない薬物を不正に使用することをいいます。

薬物乱用は、1人だけの問題ではありません。幻覚や妄想が現れることによる傷害事件や交通事故、薬物購入のための借金や窃盗事件など、本人の人生が狂うだけでなく、家族や友人といった周囲の大切な人々も巻き込んでしまいます。

「1回だけなら大丈夫」、
「みんなやっている」と
いった甘い誘いに騙されず、
「ダメ。ゼッタイ。」と断
る勇気が必要です。



(担当：獣疫薬事班 電話：0225-95-1475)

◆ひとりで悩まずに「こころの相談」してみませんか

眠れない、気分が落ち込む、アルコールがやめられない、家族が引きこもっている…などでお悩みの方に、当所では「こころの相談」を行っています。予約制ですので、まずは当所までご連絡ください。

(担当：母子・障害班 電話：0225-95-1431)

内容	相談日	場所
精神保健福祉相談	8月4日(火)	東松島市保健相談センター
アルコール関連問題相談	8月21日(金)	石巻合同庁舎
精神保健福祉相談	8月27日(木)	石巻合同庁舎

<問合せ先>

宮城県東部保健福祉事務所（石巻保健所）

復興支援情報発信チーム

HP：<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-hc/>

Tel：0225-95-1416（代表） Fax：0225-94-8982